

高度リンパ節転移を伴う進行胃癌を対象とした JCOG 試験の統合解析 JCOG0001/JCOG0405/JCOG1002 の統合解析研究

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査研究の目的】

腹部大動脈の周囲のリンパ節にがんの転移がある場合や、胃に血液を送る主要な血管の根元付近にがんの転移があってそれが大きな塊を作っている場合を特に「高度リンパ節転移」と呼びます。高度リンパ節転移を伴う胃癌に対して、手術におけるリンパ節の最適な郭清（切除）範囲はまだ定まっていません。リンパ節の郭清範囲を広くすれば、その分、がんが転移しているかもしれないリンパ節を多くとることができますが、体にかかる負担は大きくなります。そのため、体への負担を最小限におさえつつ、がんを治すための過不足の無いリンパ節郭清範囲の決定が求められています。

こうした問題を解決するため、私たち JCOG は、JCOG0001/JCOG0405/JCOG1002 の臨床試験に登録された患者さんの臨床情報を利用させていただいて、高度リンパ節転移を伴う胃癌患者さんの最適なリンパ節郭清範囲について検討することを目的とした研究を計画しました。

【対象】

JCOG1002「高度リンパ節転移を伴う進行胃癌に対する術前 Docetaxel+CDDP+S-1 の第Ⅱ相験」に登録された患者さん

【情報の利用目的及び利用方法】

JCOG1002 臨床試験に登録された患者さんの提出済みの過去のデータのみ使用します。

【調査項目】

診療録番号、生年月日、イニシャル、年齢、性別、病気の原発部位、リンパ節転移状況、治療方法、病理結果、転帰を用いた調査を行います。

なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

【調査対象期間】

2011 年 7 月 29 日から 2013 年 5 月 31 日

【利用する者の範囲】

関西労災病院 消化器外科 益澤 徹、杉村啓二郎、勝山晋亮

【試料・情報の管理について責任を有する者】

関西労災病院 消化器外科 益澤 徹

【研究期間】

実施許可日から 2024 年 12 月 31 日（調査状況により調査期間を延長する可能性があります）

【研究機関・組織】

関西労災病院 消化器外科

【研究代表者】

吉川 貴己

国立がん研究センター中央病院 胃外科

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

TEL：03-3542-2511

FAX：03-3545-3567

E-mail：tayoshik@ncc.go.jp

【研究事務局】

和田 剛幸

国立がん研究センター中央病院 胃外科

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

TEL：03-3542-2511

FAX：03-3545-3567

E-mail：tawada@ncc.go.jp

【当院の研究責任者】

益澤 徹

関西労災病院 消化器外科

〒660-8511 兵庫県尼崎市稲葉荘 3-1-69

TEL: 06-6416-1221 (代表)

FAX: 06-6419-1870 (代表)

E-mail : masuzawa-toru@kansaih.johas.go.jp